



つつじ

高桑税務会計マンスリー・ニュース 経営税務通信

編集発行人

高桑税務会計事務所
 税理士 高桑 安一
 行政書士 高桑 誠一
 税理士 高桑 誠一
 〒465-0003
 名古屋市名東区延珠町1017
 TEL (052) 774-2077
 FAX (052) 774-2158
 takakuwa@tzsit.jp

5月

(皐月) MAY

3日・憲法記念日
 4日・みどりの日
 5日・こどもの日

日	13	27
月	14	28
火	1	15 29
水	2	16 30
木	3	17 31
金	4	18
土	5	19
日	6	20
月	7	21
火	8	22
水	9	23
木	10	24
金	11	25
土	12	26

5月の税務と労務

- 国 税 / 4月分源泉所得税の納付 5月10日
- 国 税 / 3月決算法人の確定申告 (法人税・消費税等) 5月31日
- 国 税 / 9月決算法人の中間申告 5月31日
- 国 税 / 6月、9月、12月決算法人の消費税等の中間申告 (年3回の場合) 5月31日
- 国 税 / 個人事業者の消費税等の中間申告 (年3回の場合) 5月31日
- 国 税 / 確定申告税額の延納届出による延納税額の納付 5月31日
- 国 税 / 特別農業所得者の承認申請 5月15日
- 地方税 / 自動車税・鉱区税の納付 都道府県の条例で定める日

ワンポイント 直系尊属

尊属とは自分より上の世代の血族（血のつながりのある者）で、自分より下の世代の血族は卑属と呼びます。直系血族は、曾祖父母、祖父母、父母、本人、子、孫、曾孫と世代が上下に直線的に繋がる関係。直系尊属とは、自分より上の世代の直系血族になるので、父母、祖父母、曾祖父母等がこれに当たります。

独占禁止法

独占禁止法とは

独占禁止法は、事業者が公正で自由な競争を確保することで、国民経済が民主的に健全に発達することを目的に制定されました。

正式名称は、「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律」です。この法律は、①私的独占の禁止、②不当な取引制限の禁止、③不公正な取引方法の禁止の3つが大きな柱となっています。

独占禁止法に違反があった場合、公正取引委員会は違反行為をした者に対して、その違反行為を除くための必要な措置を命じます。これを「排除措置命令」といいます。

また、私的独占やカルテル、一定の不公正な取引方法が行われた場合には、違反事業者に対して課徴金が課されます。この場合、被害を受けた者は損害賠償を請求することができます。このとき企業は、故意・過失に関わらず賠償責任を負うこととなります。さらに、私的独占やカルテルなどを行った事業者などの役員に対して、罰則が定められています。

私的独占の禁止

私的独占とは、独占禁止法によって規制される独占の一形態で、事業者が他の事業者の事業活動を排除ま

たは支配することで、実質的に競争を制限することをいいます。私的独占には、「排除型私的独占」と「支配型私的独占」があります。

排除型私的独占とは、事業者が不当な低価格販売などの手段を用いて、競争相手を市場から排除することや、新規参入者を妨害して市場を独占する行為です。

一方の支配型私的独占とは、事業者が株式取得などの方法によって他の事業者の事業活動に制約を与えて、市場を支配する行為です。

不当な取引制限の禁止

不当な取引制限に該当する行為には、「カルテル」と「入札談合」があります。

本来、商品の価格や販売・生産数量などは、各事業者が自主的に決めるべきものです。カルテルは、事業者などが互いに連絡を取り合い、商品の価格や販売数量などを共同で取り決める行為です。また、競争の結果50%を超えるシェアを持つ事業者などがいる市場については、需要やコストが減少しても価格が下がらないような状態であれば、競争を回復するための措置を講じることがあります。

一方の入札談合とは、公共工事などに関する入札について、事前に受注業者や受注金額などを決めてしまう行為です。

不公正な取引方法の禁止

「自由な競争が制限されるおそれがあること」や「競争手段が公正とはいえないこと」、「自由な競争の基盤を侵害するおそれがあること」などの観点から、公正な競争を阻害するおそれがある場合に、不公正な取引方法として禁止されます。

不公正な取引方法については、公正取引委員会がその内容を指定しています。この指定には、すべての業種に適用される「一般指定」と、特定の事業者や業界に対して適用される「特殊指定」があります。

一般指定で挙げられた不公正な取引方法には、取引拒絶・再販売価格維持・優越的地位の濫用・不当販売などがあります。

また、特殊指定は現在、大規模小売業、特定荷主、新聞業の3つの分野が行う不公正取引方法を指定しています。

事業者団体の規制

独占禁止法は、個々の事業者だけを対象としているのではなく、2以上の事業者で構成される社団・財団や組合などの事業者団体も対象としています。

事業者団体による競争の実質的な制限や、事業者に不公正な取引方法をさせる行為などを禁止しています。

3Dは、立体である三次元を意味しますが、かつては映画館のような大型スクリーンに映し出されたものを、偏光メガネをかけて見るのが主流でした。現在では技術が進歩し、家庭用のテレビで3D映像に対応するものや、裸眼でも3D映像が見られるものが出始めています。

//// 3D映画 ////

人間は、右目と左目で見た像のズレによって立体像を見えています。3D映画は、右目用の映像と左目用の映像をスクリーンに投影し、専用のメガネをかけることで立体像を見る映画です。3D映画の歴史は古く、1900年代にはアナグリフ方式と呼ばれる赤と青のフィルターを付けたメガネで見る映画が上映されていました。現在では、円偏光フィルター方式や波長差方式などがあります。

//// 3Dテレビ ////

3D映画と同様に、3Dテレビも右目と左目にズレた映像を送り込むことで立体的に見せるものです。3Dテレビでは、フレームシーケンシャル方式が採用されています。これは、高速で左右のシャッターが開閉するメガネをかけることで映像を立体的に見せる手法です。3D映画でもシャッター方式のメガネが採用されているものもありますが、シャッターの駆動のためにバッテリーが内蔵されており、比較的メガネが重たいようです。2010年には多くの3Dテレビが紹介されましたが、

3D の世界

2013年には世界で1,300万台が普及するといわれており、今後ますます3Dの技術が発展すると思われます。

//// 裸眼3D ////

3Dテレビは、小型サイズでは裸眼3Dも実現しています。裸眼3Dはその名の通り、専用メガネを使用しないで立体映像を楽しめるものです。主に、ゲーム機や携帯電話など小型画面に使用されています。ゲーム機や携帯電話は画面から顔を動かすことが少ないので、裸眼3Dを採用することは比較的簡単ですが、画面の大型化はコスト面や技術面を考えると、まだまだ難しいようです。

//// 3Dパソコン ////

テレビだけではなく、パソコンも3D映像を表示でき

るものが出ています。パソコンでは、偏光方式とフレームシーケンシャル方式が採用されています。フレームシーケンシャル方式と比べて、偏光方式の方がメガネを軽くすることができ、製造コストが抑えられるというメリットがあります。しかし、映像全体の解像度が低いように感じられることや、画面に向かう位置によっては立体的に見えなくなるというデメリットもあります。3Dパソコンについては、各メーカーがしのぎを削っており、機種によっては平面である二次元の映像を三次元に変換するソフトや3D対応のカメラを搭載するものも出ています。

//// 3Dデジタルビデオカメラ ////

テレビが3Dに対応するようになったことで、ビデオカメラでも3D対応の商品が販売されています。

仕組みは3Dテレビと同じ考え方で、右目用と左目用の映像を1つのフレームに分割して記録し、再生するときそれぞれ映像を左右の目に送り出すことで立体映像を見ることが出来ます。従来のデジタルビデオカメラにアダプタを装着して3D映像を撮るタイプもあります。

//// 3D技術の展望 ////

3D映像については、過去に何度かブームが到来してはすぐに終息しています。ソフト面もハード面もさらに技術が進歩し、普及していくことが期待されます。

チョコレートの効用

～1日50グラムで生活習慣病を防ぐ～

登山者が非常食代わりにしたり、受験の休み時間にエネルギーを補給したり、健康にいいと定評のあるチョコレートですが、改めて効能や食べ方を考えてみましょう。

チョコレートが健康に良いと言われる最大の理由は、原料のカカオマスにポリフェノールの一種である「カカオマスポリフェノール」が含まれているからです。

ポリフェノールには、動脈硬化やがんなどを引き起こす有害な活性酸素の働きを抑え、血液中の悪玉コレステロールの酸化を防ぐ抗酸化作用があります。野菜や赤ワイン・緑茶・コーヒーなどにも含まれていますが、チョコレートは他の食品より含有量が多く、吸収率も優れていると言われています。

さらにチョコレートには、ガンの発生や進行を抑える、胃潰瘍の発生や悪化を防止

する、ストレスを予防し回復を助ける、アレルギー疾患や炎症を抑制する、免疫力のバランスを整える、O-157やピロリ菌を殺菌する、などの効用があると報告されています。

チョコレートを食べると肥満になる、虫歯になるというイメージがありますが、カカオバターの主成分は体内への吸収率が低く低カロリーなので太りにくい、他の菓子と比べて虫歯になりにくいという研究結果が報告されています。

しかし、砂糖は虫歯の発生源ですし、食べ過ぎはカロリーの過剰摂取になります。また、ホワイトチョコレートにはカカオマスを全く使っていない商品もあるので注意が必要です。

1日に板チョコの半分、50g程度が適量と言われていますので、偏った食べ方を避け、おやつや食後のデザートに、コーヒーやお茶と一緒に上質のものを軽くつまむのが理想的な食べ方と言えます。

「先義後利」の経営理念

先義後利（せんぎこうり）とは、中国の儒学の祖の一人、荀子の榮辱編の中の言葉で、「道義を優先させ、利益を後回しにする」ことです。

企業の利益は、お客様・社会への義を貫き、信頼を得ることでもたらされるとの意味で、言い換えると「お客様第一主義」「社会への貢献」ということになるのではないのでしょうか。

利益をあげることを最優先にせず、社会のためになるという動機で、靴を片足、左右サイズ違いでも販売するメーカーがあります。片足が腫れて、両足同じサイズの靴を履くことができない高齢者や、片足が不自由で片足だけ特注の靴が必要な人などへの丁寧な個別対応で顧客の信頼を掴み業績を伸ばしています。

“お客様の立場に立った経営がビジネスの真に大切にすべき精神”ではないのでしょうか。

夢の超高速鉄道計画「リニア中央新幹線」

リニア中央新幹線は、時速500kmで走行する超電導リニアモーターカーによって東京と大阪を結ぼうとするもので、実現すれば同間が約一時間で結ばれることとなります。

現在、東京と大阪を結ぶ東海道新幹線の利用客は一日四〇万人、年間で約一億四、五〇〇万人となっています。列車の本数は一日三〇〇本を超えており、

その輸送状況はひっ迫しています。輸送力の限界に備えるとともに、大規模な災害やテロに對して、多重型交通ネットワークの構築が求められている中、リニア中央新幹線の実現は重要性を増しています。

平成三十九（二〇二七）年に名古屋、五十七（二〇四五）年に大阪までの開業を目指して計画が進められています。